



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2023年11月号
(令和5年)
NO. 195

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ペネックスS-3 4階
TEL : 045-577-4212 / FAX : 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- ユニット議連総会へ緊急要望書提出 <2面>
- 特養入退所指針改正について意見募集(横浜市) <2面>
- 施設紹介(晃の園・静岡県) <3面>
- 入会施設の紹介 <4面>
- 車座対話第5弾(静岡) <2面>
- 尾島の視点 <2面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- 事務局から <4面>
- ユニットリーダー実地研修施設勉強会開催 <2面>
- 施設紹介(グレイスフル箕輪・長野県) <3面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>

ユニットケア議連が武見厚労相に緊急要望 研修充実と報酬改定ルール策定を

個室ユニットケア推進議員連盟(森英介会長)は10月26日、武見敬三厚生労働相を訪ね、2024年度の介護報酬改定に向けて賃金目標などの論点をまとめた緊急要望書を提出した。武見厚労相は参議院の厚生労働委員会が創設に関わった思い出を語り、ユニットケアに理解を示した。

議連会長の森衆院議員を先頭に事務局局長の中村裕之衆院議員、三ツ林裕巳、長坂康正、小島敏文の各衆院議員、江島潔参院議員が厚労大臣室を訪問し、武見厚労相に緊急要望書を手渡した。また、全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協)から赤枝眞紀子会長、政治連盟代表を務める佐々木亀一郎理事が参加した。要望書は6項目からなり、10月4日に開かれた同議連の第2回総会に推進協から提出された要望内容が下敷きになっている(2面参照)。厚労相訪問では、その中でも特に「ユニットケア研修の充実とユニットケアの普及促進」「介護職員の賃金目標、年次計画の策定および新たな介護報酬改定ルールの導入」を強く求めた。



左から長坂康正議員、中村裕之議員、森英介会長、佐々木亀一郎政治連盟代表、推進協赤枝眞紀子会長、武見敬三大臣、小島敏文議員、江島潔議員、赤枝恒雄相談役

要望の趣旨は「よく理解」

中村事務局局長はコロナ感染予防の観点からも個室ユニットの有効性が証明されたと述べつつ、「介護報酬改定では4・5%程度(の賃上げが可能となる報酬引き上げ)をやっていたただかないと、2030年代半ばに平均15000円を目指すという最低賃金の伸びに追いつかない」と訴えた。これに対して武見厚労相は、政府の新たな総合経済対策と補正予算編成の

中でも医療・介護分野の処遇改善を図っていると説明。「この(介護)分野を立て直さないといけない」と述べて、緊急要望の趣旨には賛同する姿勢を明らかにした。併せて武見厚労相は、ユニットケア創設時に参院厚生労働委員会メンバーとして制度立ち上げに関わったというエピソードを披露。「日常生活となるべく近い形で、地域に密着した介護施設として鳴り物入りでできたが、思ったほど普及してこなかった」とユニットケアを取り巻く現状に対する認識を示した上で、ユニットリーダー

研修の充実に向けた観点についても、「施設の管理体制、介護の質の向上を考えたら、ご要望は誠にまっとうだ」と評価した。一方、ユニットケアに課される条件を厳しくしすぎて人材確保が難しくなるのは問題だとも述べ、施設経営や「財源確保」を含めた制度全体の枠組みを見ながら進めていくべきだという考えを示した。

財源問題解決に「追い風を

介護職員の処遇改善をはじめ、ユニットケアの普及促進には財源問題が常に立ちちはだかる。武見厚労相は「(介護保険制度は)公定価格で物事が決まっていく方式ですから、公定価格が上がっていかない限り、賃金上昇につながらな

い。なるべく国民の皆さんの保険料を引き上げないようにしながら、どうやって財源を見つけてくるのか、あらゆる難問に今、立ち向かっている」と述べ、議連メンバーの支援によって「追い風」を作ってほしいと訴えた。最後に推進協の赤枝会長が「ユニットケアを最初から頑張り広めていくとしてきているんですけど、なかなか広まっていかないジレンマがあります。リーダー研修などいろいろな研修をしっかりとしながら良いケアをして、日本がどれだけ良い介護をしているのかを世界に誇りたいと思っております」と抱負を述べたのに対し、武見厚労相は「これからが戦いです」と意気込みを込めて応じた。

介護給付費分科会

処遇改善加算一本化を了承 同要件に「ユニットリーダー研修受講」も追加

24年度の介護報酬改定を話し合う厚労省の介護給付費分科会は、10月下旬から個別の介護サービスに関する「二回り目」の検討に入った。12月の「審議報告」取りまとめに向け、具体的な議論の集約が加速している。11月6日の会合では訪問介護などに関して改定の方角性が示されたのに併せ、介護人材の処遇改善が議論された。

厚労省は処遇改善に関する三つの加算(介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算)について、制度が複雑で事務が煩雑との指摘があるとして「一本化」を提案し、おおむね肯定的に受けとめられた。一方で委員からは、利用者負担が発生するという理由で加算を算定していない事業所も多く、待遇改善は税負担で賄うべきだとする意見や、処遇改善加算の対象をケアマネジャー、福祉用具担当者ら他職種にも広げたいことを求める意見が出された。

複合型には根強い異論噴出

同時に加算の算定要件の一つである職場環境改善の取り組みとして、研修受講支援の対象に「ユニットリーダー研修」などを追加する案が厚労省から示された。

また通所と訪問を組み合わせた新しい複合型サービスを地域密着型サービスとして設ける厚労省提案には賛否が半ばした。全老健会長の東憲太郎委員は訪問介護の人材不足に対応するためなら通所介護事業所を訪問介護事業所としてみなし指定するのがよいと指摘。地域密着型サービスの位置づけについて「市町村をまたいでのサービスが受けられなくなる恐れがある。メリットがあるのはサ高住などではないか」と述べた。慶應義塾大学院教授の堀田聰子委員は「制度が複雑化するし、すでに行われている地域内の協働が阻害される」として、パイロット事業の検証など慎重な検討を求めた。

介護大学から

【実務者研修全課程修了】

「燦燦分校」(岐阜県)は、9月17日に実務者研修の全課程を修了しました。研修には、受講生4名の他に、実務者研修教員3名と医療的ケア教員2名が、次回の開催に向け全授業視聴・動画撮影を実施しました。介護計画の立案時、生活支援技術や医療的ケアの演習の際には、視聴していた教員自ら受講生に直接指導する場面も見られ「自施設で職員が自施設の職員を育てる」という介護大学のコンセプトが共有された研修でした。



医療的ケア演習

- ▽飯島分校(秋田県) 10月開講
- ▽しようじゅの里三保サテライト分校(神奈川県) 10月開講
- ▽明尺苑分校(千葉県) 12月開講
- 令和6年開講予定は10分校(11月現在)
- 【第5期分校募集説明会開催】
- 10月5日、募集説明会を開催。新規分校登録に関しては、12月中旬を目途に神奈川県に計画書提出、来年3月に申請書提出、9月頃認可が下りる予定です。
- 【12月の研修予定】
- ▽【新規】ユニットケア基礎研修
- 12月8日(金)、12月20日(水)
- ※詳細はホームページで!
- 【お詫びと訂正】
- 10月号の介護大学の記事内容に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。
- 誤) 社会福祉法人久幸会の3分校
- 正) 社会福祉法人友遊会
- 特別養護老人ホーム飯島
- 特別養護老人ホームはーとふる
- 医療法人久幸会
- 介護医療院七里分校

第2回ユニット議連総会

「新たな改定ルール」の導入を

推進協が緊急要望書を提出



2024年度の介護報酬改定に向けた議論が本格化する中、個室ユニットケア推進議員連盟（森英介会長）は10月4日、東京都内で今年度の第2回総会を開催した。全国個室ユニット施設推進協議会（推進協）から赤枝眞紀子会長（顔写真）をはじめ理事16人（オンライン出席、代理含む）が参加し、同議連に「緊急要望書」を提出した。

総会には衆参合わせて9人の国会議員が出席し、冒頭で森会長は「物価高騰や介護職員の賃上げ問題への対応を含め、ユニットケアの推進に向けて強力に取り組みを進めていく」とあいさつした。

推進協の要望は①ユニットケア研修の充実とユニットケアの普及促進②介護職員の賃金目標、年次計画の策定および新たな介護報酬改定ルールの導入③特養の特例入所④複合型サービスの推進⑤介護福祉士実務者研修の効果的実施⑥2ユニット一体運用の推進⑦の6項目からなる。①②④は厚生労働省の介護給付費分科会による関係団体ヒアリング（9月27日）で意見陳述した内容と重なるが、推進協の懸念上忠寿事務局長は②の観点を改めて強調。仮に24年度改定で介護職員の賃金水準を全産業平均に一定程度近ける措置が取られたとしても、改定のない25・26年度に賃上げを行う財源が事業者にはない。推進協はその「プランク」を埋めるため、人事院勧告や物価指数に連動した「スライド方式」の導入など改定ルールの根本的な見直しを求めている。懸上事

務長は「大幅改定と併せて『空白の2年間』をどうするか、政府は方針を示してほしい」と訴えた。

③の観点では、厚労省は特例入所について自治体に柔軟な対応を促す通知を出しているが、認知症や虐待の恐れ、単身世帯などを入所条件とする運用では対応は変わらないとして「利用のニーズがある場合には、入所を断らないようにとする運用」を徹底するように求めた。

厚労省 物価スライドに慎重

総会には厚労省の担当者も出席し、要望に対する政府の考え方を説明した。介護職員の待遇改善について峰村浩司・老健局高齢者支援課長は、社会保険・社会福祉・介護事業分野の入職超過率が22年に1・6%のマイナス（離職超過）に転じたとする同省資料を挙げ、「10年以上の経験がある人が（賃金の高い）他職種に流れている」と深刻な状況であるとの認識を表



第2回ユニット議連総会

明。ただ物価スライドなど抜本的なルール作りには「慎重な検討が必要」と述べるにとどまった。併せて峰村課長は、特養の特例入所に関する要望についても「特養が中重度者を支える施設として機能の重点化がされてきた経緯を含めて、慎重に検討する必要がある」と話した。また2ユニットの一体運用に関しては「昼間の時間帯に各ユニットに常時1人以上の

車座対話in静岡開催

人材確保は富士山型から山脈型へ

推進協は静岡支部と共に、10月19日、5回目となる車座対話を静岡市において開催した。

第5回は、介護人材確保を中心議題としたこともあり、厚労省からの講演は社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室の吉田昌司室長が行った。

吉田室長は、介護人材を取り巻く状況と課題および確保に向けた対応について説明した。なかでも、介護人材確保の方向性については、これまで富士山型が示されていたが、今後の介護福祉士のキャリアモデルとして、マネジメント業務のみならず、認知症ケア・看取りケアなどの特定スキルの上を目指す「山脈型」を提示した。

第二部の車座対話では、地元から、社会福祉法人七恵会の増田公基理事長、社会福祉法人岳陽会地



会場の様子

介護職員または看護職員を配置する運営基準を満たしていれば実施可能」という考え方を示した。総会の最後に推進協の赤枝会長が要望書を森議連会長に手交。議連の中村裕之事務局長が「報酬改定がしっかりと結果になることが人材確保につながる。私たちの力の発揮のしどころだと思ふ。議連として厚労大臣に要望活動をしていきたい」と決意を述べた。

ユニットリーダー実地研修施設勉強会開催

10月3日、ユニットリーダー実地研修施設勉強会が開催され、29施設・57名が参加し以下の2点の周知をおこなった。

▼実地研修における書類（運営計画書など）の取扱いについて

運営計画書の提出時期をはじめ、取り扱いが標準化されていないという意見が多く寄せられたため、実地研修施設における運営計画書などの取り扱いプロセスの説

明、確認をおこなった。▼ユニットリーダー実地研修施設更新調査について

現在、更新調査の対象は27施設。更新調査の時期については未定だが、再開する方向で動いていること、遅くとも年内には更新調査のスケジュールを確定する予定であることを示した。各施設と日程調整の上、順次、更新調査を開始する。

横浜市特養の入退所指針改正へ市民からの意見募集

横浜市は、特別養護老人ホームの入退所に関する指針を見直し、特例入所を拡大する方針だ。「要介護1・2の方についてもより幅広く申し込みが可能となるようにする」としている。10月まで市民から意見を募集し、令和6年4月から適用する予定。

横浜市は、前回の指針見直しから7年が経過し、特養を取り巻く状況も変わってきていることが改正の理由としているが、特養の入退所指針については、国が自治体の指針の元となる通知を4月に改正していた。

今回の横浜市の改正内容は、入所申し込みが出来る者として「上記以外に新たに、在宅で生活することが著しく困難であり、特別養護老人ホームへの入所が必要と思われる」者を追加した。これについて国の改正通知では、特例入所の対象者として、「地域の実情なども踏まえ、各自自治体において必要と認める事情があれば、それも考慮すること」と一文加えており、これを受けたものと推測される。

推進協は、これが全国に広がるか注視していくとしている。

各種情報募集!
皆様からの様々な情報を募集しています。
例：県や市からの情報・その他
ご連絡はこちらまで
info@suishinkyo.net

尾島の視点

家族の形（三世代同居）

約一年続いた「独居生活」に終止符を打ち、この秋から息子家族（次男夫婦・孫）との三世代同居を始めることになりました。居住地であるK市では、市内に住宅を取得し、三世代同居した場合（他、要件有）補助金制度があるという情報を入手し、早速、市役所の担当課に赴き、諸々手続きをしました。その折、職員から「お幸せですね」と声をかけられるも、書類を書きながら、今や三世代同居は当たり前ではないのだと実感しました。

先日、不動産屋から内装工事が終了した旨のお知らせと内見の案内が届きました。まだ何もない状態の箱物として存在する家が、新しい生活の舞台になるのかと思うと、大きな期待は当然のこと、小さな不安がひよっこりと顔を出しました。

この家で、これからどんなドラマが展開されるのだろうか、プライベートは保たれるだろうか、リロケーションダメージに陥らないだろうか、そんなことが脳裏をよぎりました。きつと、泣いたり、笑ったり、怒ったり、喧嘩をしたり、悲喜交々とした生活を日々積み重ねていくのかと感慨深くなります。

いつの日か、私自身も施設入居の時を迎えます。入居に至る経緯の中に「次男夫婦と同居するも」と書かれるのか否か、それは私と家族とのこれからの関係性が大きく影響するものだと捉えています。

家族一人ひとりの価値観を尊重し、時間をかけ、手間をかけながら、自然と家族の形が醸成していくこと、ここが自分の一番心地よい落ち着ける居場所（ホーム）となることを願う今日この頃です。

12月の注目研修
▽安全対策体制加算研修
12月20日（水）

手洗い・うがい忘れずに!

長野県 社会福祉法人 サン・ビジョン 特別養護老人ホームグレイスフル箕輪

～ 地域におけるその人らしい生活を支援する ～

【施設概要】

住所：長野県上伊那郡箕輪町中箕輪6062
電話：0265-75-3881 FAX：0265-75-3891
URL：https://sun-vision.or.jp
【特養】30名(3ユニット) 【ショートステイ】10名(1ユニット)

【施設の紹介】



施設外観

グレイスフル箕輪は長野県の南に位置する上伊那郡箕輪町に平成23年に開所した施設で特別養護老人ホームの他にデイサービスセンター、グループホーム、住宅介護支援事業所、生活支援ハウスを併設している施設です。箕輪町の街並みを一望できる高台に位置しており、春にはみのわ花街道の約1200本のハナモモが咲き乱れ、夏にはながた自然公園でのキャンプなどアウトドアを楽しめ、秋は東京ドームほどもある畑にピンクの絨毯を敷いたような赤そばの花が咲き誇る自然に囲まれた環境です。

【もみじ湖の紅葉】

国内旅行サイトじゃらねtの「全国のおすすめ紅葉スポットランキング」では3年連続で1位を獲得したことで、全国的にも広く知られています。



【法人理念】

少子高齢社会に対応し、時代に先駆けた質の高い

サービスを創造することにより、地域におけるその人らしい生活を支援する。

【 credo 】

▽利用者様 利用者様に思いやりを持って質の高いサービスを提供します。
▽高齢者 高齢者が元気に笑顔でその人らしい生活が出来るように支援します。
▽子ども 子どもがのびのびと健やかに成長できるように支援します。

▽職員 職員がプロフェッショナルとしての自覚と誇りを持ち、働きやすい職場を作ります。

▽地域共生 人と人とのつながりを大切にし、あらゆる人に開かれた地域づくりを目指します。



何気ない一日



【体を動かすことを日課に】

毎日10時から各ユニットで体操や歌唱を30分程度実施しています。参加は自由ですが、半数以上の利用者様が参加されます。中には時間になると、ご自分のお部屋から出てこれられ、早く始めるよう職員を促す方もおられます。

【4年ぶりの夏祭りの開催】

感染症拡大防止のため自



夏祭りヨーヨーすくい



4年ぶりの夏祭り

【松原由紀美施設長から】

併設しているデイサービスやグループホームの利用者様とも交流ができ、普段とは違った時間を楽しんでいたかったです。



コロナウイルスが5類に分類され、少しずつコロナ禍前の活動を開催できるようになってきました。中にはそのような活動を経験したことのない職員もいます。が、お互い協力し合い、さまざまなレクリエーションやイベントを行っています。

また、よりよいケアが提供できるよう施設内外の研修会を通し、各自のスキルアップを図っています。

今後も利用者様の生活をしっかりと支えていきたいです。

静岡県 社会福祉法人 駿河会 特別養護老人ホーム晃の園

～ 尊厳を守りゆとりある暮らしを共に過ごす ～

【施設概要】

住所：静岡県静岡市葵区富沢 1542-39
電話：054-270-1210 FAX：054-270-1253
URL：https://www.surugakai.net/hikari/
【特養】150名(14ユニット) 【ショートステイ】20名(1ユニット)

【施設の紹介】



施設外観

【施設紹介】

静岡県静岡市の市街地から程よく距離を置いた四季の移ろいが美しいオクシズ（奥静岡の愛称）にある特別養護老人ホームです。1988年に認知症ケアに重点をおいて開設されました。その後、身体拘束廃止が入居者個々の暮らしの環境にも目を向けるきっかけとなり、従来型の改修工事、個室型7ユニットの増築を経て現在に至ります。重度化により入居後の滞在年数が短年化している今、重度化における暮らし作りは、これまで以上に多くの工夫や知恵が必要です。入居後も安心して過ごせる「暮らしの場」と「看とり介護」に重点をおいて取り組みをしています。

【地元の名物】

オクシズは美しい自然景観や温泉、カフェなどがあることから、古くから県民に親しまれています。また、静岡茶の始まりといわれる「聖一園師」のゆかりの地であり、次郎柿の名産地でもあります。

【施設の理念】

「尊厳を守りゆとりある暮らしを共に過ごす」という理念を掲げ、一本一木想いを込めてつむいだ糸が、やがてひとつの織物になる

ように、つむぐ人の手のぬくもりが織りなす暮らしを大切にしています。

【おそろいの帽子】

写真左の二人の入居者様がかぶっている帽子、実はお揃いなのです。いつも帽子をかぶられている入居者様を見て、写真右の素敵な笑顔の入居者様がつけてくださいました。「ありがとうございます。手作りって温かいね」と、満面の笑顔を見せて下さいました。



帽子を作った入居者(右)



おそろいの手作り帽子

【敬老のお祝い】

9月19日に園内では敬老のお祝いを行いました。各ユニットでお花や寄せ書きを用意したり、設えを変えてみたりとお祝いの演出をしました。特別なお弁当の他、お刺身盛りなども用意され、あちこちから「豪華だね!」「どれから食べようかな?」「きれいなお花で心が浮き立つわ!」とい



敬老の日の贈り物に笑顔がこぼれる

【川崎誠之園長から】

常に進化を目指す施設へ



昭和64年の開設から集団ケア、身体拘束廃止、ユニットケアの導入など様々な歴史の変革を重ねてきました。常に時代の先を意識し、地域や社会から求められるニーズに応えることに励んできました。

今後は、多様化しているニーズに応えるために、医療的ケア・認知症ケア・看取り介護の充実の3本柱を軸に運営し、「晃の園へ入居して良かった。」と言っていただけける施設を目指し、職員とともに歩んでいきたいと考えています。

施設紹介コーナー 投稿原稿 募集中!

投稿料 1万円GET

投稿用紙のフォーマットへ必要事項を入れるだけ

詳細は推進協ニュース施設紹介担当書宛
Tel : 045-577-4212
Mail : info@suishinkyo.net



介護「ユース・ダイジエスト」

9月26日
10月25日

国際福祉機器展開催(9月26日)

最先端の介護ロボットなど福祉機器を一堂に集めたアジア最大規模の展示会が同29日まで東京ビッグサイトで開催され、11カ国2地域から約380社が参加した。

財務省 24年度報酬改定に向けた課題を提示(9月27日)

24年度予算編成に関する議論を行う財政制度等審議会の財政制度分科会で、介護報酬改定について「公定価格の適正化」の観点から課題を提示。ICTの活用、人員配置基準の柔軟化、経営の協働化、大規模化などを挙げた。

全国老施設調査 6割以上の特養が赤字経営(10月3日)

全国老人福祉施設協議会が開催したセミナーで、昨年度の「介護老人福祉施設等収支状況等調査」の結果(速報値)が報告された。補助金を除いた場合、赤字経営の特養は62・0%で、補助金を含む場合でも51・0%に上った。

厚労省 認知症研修の完全義務化など周知徹底へ(10月4日)

前回の介護報酬改定事項のうち、来年3月末で経過措置が終了する事項について、自治体に周知の徹底を求めた。認知症介護基礎研修の義務付けや、災害時などのサービス提供実施や早期再開を図るための業務継続計画(BCP)の策定など7種類の事項がある。

外国人介護人材の配置基準見直しを議論(10月4日)

厚労省は「外国人介護人材の業務の在り方に関する検討会」の第2回会合を開き、EPA介護福祉士候補者と技能実習生の人員配置基準への算入を就労6カ月後として、就労直後からに改める取り扱いを論点として示した。

経済財政諮問会議で財界議員が報酬改定に提言(10月10日)

経済・財政一体改革に関わる議論で十倉経団連会長ら民間の有識

者議員は重点課題として「診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定」を挙げ、医療・介護の効率化や保険料負担への影響、物価高騰・賃金上昇などを踏まえて方向性を示すように求めた。

医療・介護42団体が物価高騰対策に関する決議(10月10日)

日本医師会などをつくる国民医療推進協議会は総会を開き、公定価格で運営される医療機関や薬局、介護施設は物価高騰や賃金上昇を転嫁できず、国民の生命と健康を守る医療・介護を提供するために適切な財源を確保するよう強く要望する決議を採択した。

推進協 ユニツクケア研修の質確保を目的とする会議に参加(10月11日)

昨年度から実施されている厚労省が主宰の会議。ユニツクケア研修を実施する団体が一堂に会し、実施状況を報告すると共に、現時点での課題について話し合った。

介護報酬改定に向けた「基本的視点」を提示(10月11日)

介護給付費分科会は介護報酬改定に向けたこれまでの議論に基づいて、4項目からなる基本的な視点を示した。「働きやすい職場づくり」や「制度の安定性・持続可能」が注目論点になりそうだ。

厚労省 報酬改定の来年6月への先延ばしを提案(10月11日)

来年度の介護報酬改定の時期を従来の4月から6月とする案を介護給付費分科会で示した。短期間でサービス内容などの変更に対応する必要がある事業所の負担軽減や、同時に行われる医療報酬改定が6月とされたことに伴う措置。

岸田首相 認知症への「早期介入」に意欲(10月12日)

第2回の認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議を首相官邸で開き、認知症について「早期発見・早期介入、検査・医療サービスが

円滑に提供される体制の整備を目指す」と述べた。更なる治療薬の研究開発も推進するとした。

推進協 木村義男前参院議員パーティに参加(10月17日)

都内で開催され、赤枝会長他が参加した。自民党の石破元幹事長が冒頭来賓挨拶を行った。木村前議員も依然として国政への強い関心を示した。

自民党 介護分野の賃上げなどを提言(10月17日)

同党政調会がまとめた「新たな総合経済対策に向けた提言」を岸田首相に申し入れた。厚生労働部は医療・介護・障害福祉分野における賃上げのために必要な対応を早急に実施することなどを重点項目として盛り込んだ。

介護報酬改定に向けた62万人署名を提出(10月18日)

労働組合の日本介護クラフトユニオンは、介護従事者が安心・安定して長く働ける水準に介護報酬を設定することや、介護報酬の仕組みを利用者が理解、納得できるものにするように要望する62万2365人分の署名を厚労相宛てに提出した。

全老健など関係12団体が岸田首相に緊急要望(10月19日)

全国老人保健施設協会など介護関係12団体は岸田首相と自民党の萩生田事務調査会長に対し、今年度の緊急経済対策・補正予算で、光熱水費、食材費の物価高騰へのさらなる対応と介護職員の処遇改善を求める緊急要望を行った。

岸田首相 所信表明演説で「処遇改善」をうたう(10月23日)

国として認知症対策を包括的に進めていくとする文脈の中で「現場で働く方々の給与に関わる公定価格の見直しを進め、高齢化等による事業者の収益の増加等が処遇改善に構造的につながる仕組みを構築します」と述べた。

厚労省 職業紹介業者の指導監督を集中的に実施(10月24日)

経済財政諮問会議の社会保障ワーキンググループに提出した資

ズバリ回答！人事・労務のお悩み 組織迫害行動？

【今月の相談内容】

上司が部下に対してパワハラをしているという相談がありました。具体的には、業務に関する能力を超えて与える仕事でした。できなければ叱責し、何度も注意することを繰り返す、部下は、精神的に追い詰められ、出勤することができなくなりました。

内容的には業務上必要かつ相当な範囲を超えたものではないため、パワハラは定義には当てはまらないと考えられますが、今後どのように対処すればよいでしょうか？

【回答】

パワハラコメントの定義には該当しないでしょう。とある学術的な領域においては「組織迫害行動」と呼ばれるものがあります。

組織迫害行動とは、組織において、個人が不当な取り扱いを受けたり、嫌がらせを受けたりすることを指しており、パワハラは定義とはその意味の範囲が広いと解釈しています。

パワハラでなくともこれらの状況に至ってしまうことは、仮に職員本人にも何らかの課題があったとしても、避けていく必要があります。

かく上司は、役職に就いた場合、「自分は抜擢された」「選ばれた人間なんだ」となり、厳しい態度をとることがあります。しかし、「たまたま年齢的に適齢だった」「育児などの負担がなかった」などが昇進に大きく影響していることは少なくありません。

これに伴い「部下はいうことを聞くべきだ」「自分のように努力すべきだ」となり、期待に応えない部下に対してイライラしたりしこれをきっかけに迫害行動を受けやすい環境が発生し、パワハラへと向かうと考えられます。指導計画あるいはキャリア計画などといった職員育成制度を含めた人事制度の運用を行う必要があります。

ここには、上司と部下の交換関係を踏まえ、部下に対する義務、上司として部下をサポートする義務を踏まえる必要があります。

まずは、職員が復帰しやすい環境とはどのようなものであるかを協議し、あわせて、制度設計などを行う必要があると。



推進協監事・特定
社会保障労務士
栗田淳二

事務局から

紅葉の季節となり街路樹が色づき始めました。赤、黄色、オレンジ、山の木々や街路樹の色が変わっていき様子はとても美しいですね。あまり空を見上げる機会のない日常生活の中で、自然と視線を上にしてくれる紅葉は、心ほっと一息つかせてくれます。今しか見られない紅葉を、皆様ぜひお楽しみください。



入会施設のご紹介

【岩手県】特養 成仁ハウス百年の里 (福) 成仁会

理事長 山崎和彦
施設長 山崎シゲ

岩手県大船渡市立根町字宮田9-1
【会員施設数】 394施設

(令和5年10月30日現在)

2023年度 友共事業 共に作り、友に学ぼう、共に

ユニット型施設 事例研究募集

募集期間：2024年3月31日まで

詳細はホームページにて

テーマは自由

令和6年4月より、介護職員は年2回の虐待防止研修の受講が義務化されます。

厚労省 虐待防止研修対応 虐待防止研修 (Eラーニング)

1本1時間

Eラーニングなのでいつでも視聴可

推進協 新規研修事業

一般職員向けのオンライン研修

ユニットケア 基礎研修

【プログラム】 13時~16時45分

【内容】 ユニットケアの理念と特徴他 (GWあり)

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。同じ講師が担当いたします。